

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.1
Q-1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		2.3	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 騒音		-	-	3.0	0.29	
1.1.1 1 騒音レベル		-	-	3.0	1.00	
1.1.1 2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.67	3.2	0.50	
1.2.1 1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
1.2.1 2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
1.2.1 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.2.1 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.33	2.0	0.21	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00	
2.1.1 1 室温設定		3.0	0.60	3.0	0.60	
2.1.1 2 暖房・冷房制御		-	-	-	-	
2.1.1 3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
2.1.1 4 ゾーン別制御		-	-	-	-	
2.1.1 5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.1 6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.1 7 時間外空調		-	-	-	-	
2.1.1 8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.4	0.25	3.0	1.00	2.9
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.35	
3.1.1 1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
3.1.1 2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3.1.1 3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.35	
3.2.1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.1 2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.3.1 1 照度		3.0	1.00	-	-	
3.3.1 2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
4.1.1 1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を満たした建築材料を採用している。	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.1 2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.1 3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.1 4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
4.2.1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.1 2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
4.2.1 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.1 4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
4.3.1 1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
4.3.1 2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1 機能性		5.0	0.40	2.4	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.60	2.0	0.60	
1.1.1 1 広さ・収納性		-	-	-	-	
1.1.1 2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00	
1.1.1 3 バリアフリー計画	ハートビル法の利用円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たして	5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	3.0	0.40	
1.2.1 1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
1.2.1 2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
1.2.1 3 内装計画	パース、販売用モデルルームにより検証してデザインされている。	5.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
2.1.1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2.1.1 2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33	-	-	
2.2.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	磁気質タイル貼を使用	5.0	0.29	-	-	
2.2.1 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロスを使用	4.0	0.12	-	-	
2.2.1 3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.1 4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.3.1 1 屋上(屋根)・外装仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2.3.1 2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
2.3.1 3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.19	-	-	
2.4.1 1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2.4.1 2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
2.4.1 3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
2.4.1 4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
2.4.1 5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		2.8	0.29	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				3.6	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	街のあたらなシンボルとなるよう計画がなされている。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						2.9
LR-1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	照明エネルギー消費係数が0.36を示す	4.1	0.40	-	-	4.1
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	-
LR-2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水利用システム		3.0	-	-	-	
2 低環境負荷材		2.8	0.85	-	-	2.8
2.1 資源の再利用効率		2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率		1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避		3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.5
1 大気汚染防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2.2 振動		3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制		1.6	0.15	-	-	1.6
3.1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		3.0	0.10	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	3.2
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制	適切な量の駐車・駐輪スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分 総合スコア
		17019 m ²	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの 高効率化	-	-	-	-	4.1
	個別設備による評価	4.1	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-